

### 流行性耳下腺炎

2015年41週の県全体の定点当たり報告数は、40週の0.84から増加し0.98となった。過去4年の同時期と比較し多く、4～5年間で大きい流行を繰り返すことが報告されており、今後の流行状況に注意が必要である。

保健所別定点当たり報告数は、野田(3.25)、市原(3.14)、印旛(2.44)、海匝(1.50)、山武(1.50)、柏市(1.11)で多く、地域差がある。

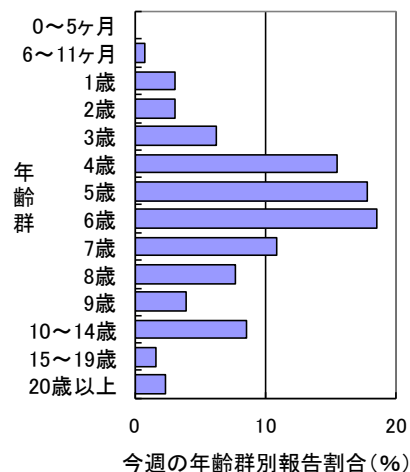
2015年41週に報告された129例の性別は、男性71例(55.0%)、女性58例(45.0%)で、年齢群別では、4～7歳が81例で62.8%を占めていた。

参考

- 1) 国立感染症研究所 病原微生物情報(IASR) Vol. 34 No. 8 (No. 402)

URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-vol34/3968-iasr-402.html>

流行性耳下腺炎



2008年～2015年41週千葉県の流行性耳下腺炎定点当たり報告数

